

令和7年度

第16回大分県教育委員会 議事録

日 時 令和7年11月21日（金）  
開会14時30分 閉会14時44分

場 所 教育委員室

令和7年度  
第16回大分県教育委員会

**【議 事】**

(1) 報 告

- ① 令和7年第4回定例県議会議案に対する教育委員会の意見について
- ② 第15回科学の甲子園大分県大会の結果について

## 【内 容】

### 1 出席者

教育長	山 田 雅 文
委 員（教育長職務代理者）	高 橋 幹 雄
委 員	高 鈴 木 恵 代
委 員	岩 武 茂 代
委 員	岡 田 豊 弘 敦
委 員	藤 田

<b>事務局</b> 理事兼教育次長	大 和 孝 司
教育次長	山 田 誠 司
教育次長	木 村 典 之
教育改革・企画課長	鈴 木 耕 平
教育財務課	深 藏 亮 一
高校教育課長	小 野 和 正
教育改革・企画課 総務企画監	和 田 博 幸
教育改革・企画課 課長補佐（総括）	多 嶋 田 智
教育改革・企画課 主査	穴見 ひとみ
教育改革・企画課 主事	高 田 隼 希

### 2 傍聴人

1 名

## 開会・点呼

(山田教育長)

委員の出席確認をいたします。  
本日は、全委員が出席です。

(山田教育長)

会議に先立ちまして、佐賀県での大規模火災による被害者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本事案における教育委員会関係の被害について、児童生徒および教職員の身体、生命にかかる被害および教育委員会所管施設、文化財への物的被害については現在のところ報告はありません。

しかしながら、突然のことで精神的なストレスは計り知れないものと思いますので、スクールカウンセラーの派遣など安心して学校生活を送れるよう心のケアに努めてまいります。

(山田教育長)

ただ今から令和7年度第16回教育委員会会議を開催します。

## 署名委員指名

(山田教育長)

議事録の署名については、岡田委員にお願いします。

## 会期の決定

(山田教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。  
会議の終了は14時45分を予定していますので、よろしくお願いします。

## 議 事

### 【報 告】

#### ① 令和7年第4回定例県議会議案に対する教育委員会の意見について

(2課〔教育改革・企画課、教育財務課〕入室)

(山田教育長)

まず、報告第1号「令和7年第4回定例県議会議案に対する教育委員会の意見について」教育改革・企画課長から説明をしてください。

(鈴木教育改革・企画課長)

報告第1号について説明します。

資料の2ページをご覧ください。令和7年第4回定例県議会に上程される議案のうち、教育委員会関係分として、中ほどの議案名にある「大分県立学校の設置に関する条例等の一部改正について」、知事から教育委員会の意見を求められました。

本来なら知事への回答にあたり、教育委員会で議決していただくところですが、日程の都合上、協議できなかったため、「大分県教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第3条第1項に基づき教育長が臨時代理として処分しました。資料3ページのとおり異議のない旨回答しましたので、同条第2項に基づき、本委員会に報告します。

議案の内容等について、担当課長から説明しますので、よろしく申し上げます。

(深藏教育財務課長)

資料の4ページをご覧ください。「大分県立学校の設置に関する条例等の一部改正について」説明します。

「1. 改正理由」ですが、別府市大字鶴見において、住居表示制度が実施されるため、別府支援学校、別府支援学校鶴見校、別府支援学校石垣原校の位置表記を改正するものです。

「2. 改正内容」ですが、別府支援学校の「別府市大字鶴見4224番地」が「別府市荘園町56番68号」に、別府支援学校鶴見校の「別府市大字鶴見4075番地12」が「別府市荘園町66番8号」に、別府支援学校石垣原校の

「別府市大字鶴見4,050番地293」が「別府市荘園町73番66号」となります。

「3. 施行期日」ですが、住居表示の実施期日である、令和8年1月10日としています。

説明は、以上です。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(質問・意見なし)

## ② 第15回科学の甲子園大分県大会の結果について

(2課〔教育改革・企画課、高校教育課〕入室)

(山田教育長)

次に、報告第2号「第15回科学の甲子園大分県大会の結果について」高校教育課長から説明をしてください。

(小野高校教育課長)

科学の甲子園大分県大会の結果について報告します。

今年度で第15回になる本大会は、科学好きの裾野の拡大、トップ層の伸長、将来の有為な科学系人材の育成を目的に、11月3日に県教育センターで実施しました。出場チームについては、各校2チーム以内で募った結果、17校、31チーム226名と、過去最大の規模の参加校、参加人数となりました。

次に、競技内容としては、筆記競技、実験競技を2種類行いました。ダイジェスト版の映像を準備しましたのでご覧ください。

(映像を視聴)

筆記競技については、物理、化学、生物、地学、数学、情報から60点ずつ出題される問題を、1チーム6人で協力して解答していきました。

実験競技については、2種類の競技を行いました。実験競技Ⅰについては、化学をテーマとして実施しました。先ほどの映像にもあったように、未知の水溶液が何であるかを推定して、さらにその濃度を測定する内容であり、それぞれの試薬の性質を踏まえた分析力と、濃度測定に関する実験技能を競いました。

実験競技Ⅱについては、先ほどの映像で手を握って伝達を行っていたものになりますが、ものづくりに関する総合競技で、事前に各チームに公開したテーマがあり、それに対して各校が準備をして臨む形となりました。今年度は、UFOキャッチャーのアームのようなマジックハンドをそれぞれが作成し、それを使って指示された場所にカプセルを運搬することを目的とした、物理に関する問題でした。3人1チームを構成し、無言で握手した手のみで指示内容を伝達し、指示通りに的確にカプセルを運ぶことができるかを競う競技でした。

全競技が終了後、参加者全員を対象に講演会を実施しました。講演会のタイトルは「協和キリンのバイオ医薬品開発と生産研究」という演題で、協和キリン株式会社の安部 祐子 氏（臼杵高校出身）から、ご自身の研究員としての経験や、興味を持ったことにひたむきに頑張ることの大切さなどについて、講演をいただきました。生徒からは「視野を広げることができて良かった」や「色々な人とつながることの大切さを知れて良かった」など、挑戦意欲を掻き立てるすばらしい講演をいただきました。非常に有意義だったとの感想が多かったようです。

次に、結果ですが、右下をご覧ください。合計720点満点で競われたこの大会の最優秀賞は、大分上野丘高校でした。また大分舞鶴高校Aチーム、佐伯鶴城高校AチームのSSH指定校が優秀賞となり、SSH指定校の科学系人材の育成

に学校全体として取り組んだ成果の1つであると考えています。

最優秀の大分上野丘高校は、来年の3月20日から茨城県つくば市で開催される予定の全国大会に参加します。

以上で科学の甲子園大分県大会の報告を終わります。

(山田教育長)

ご質問・ご意見はありませんか。

(藤田委員)

優勝チームは720点満点中、何点でしたか。

(小野高校教育課長)

得点は公表されていませんが、非常に正答率が高い状況でした。特に筆記競技の成績の方は素晴らしい成績でした。また、先ほど説明した実験競技Ⅱのアームを使う競技は事前に公表しており、その準備が非常に綿密にされ、当日も素晴らしいパフォーマンスを発揮していました。

一言申し添えると、上位3チームは筆記競技が非常に拮抗しており、来年度に期待がもてる形となりました。

(高橋委員)

前回の大会等の結果を見ると、大分上野丘高校がトップを取っていますが、大分上野丘高校はこの大会に対して特別なカリキュラムを行ってチームを指導しているのですか。

(小野高校教育課長)

特別な授業等は実施していませんが、放課後の時間を使うことや、科学部所属の生徒は部活動を通して準備を行っています。また担当の先生方が生徒に寄り添い、指示を出すなどして、準備をしています。

(高橋委員)

今回佐伯鶴城高校が優秀賞となりましたが、大分市内の学校だけでなく地域の学校が参加して良い成績を残してくれたら、もっと面白くなると思いますので、指導をお願いします。

(山田教育長)

全国大会が来年の3月に開かれますが、最近の大分県の全国大会出場校の成績はどのようになっていますか。

(篠田指導主事〔高校教育課〕)

令和4年度に大分東明高校が参加した際は、上位10番以内に入った実績があ

ります。厳密には7位という実績でした。

(山田教育長)

全国総合文化祭で大分上野丘高校が日本一になりましたが、科学の甲子園は全国制覇ができていないので、是非頑張ってください。

(山田教育長)

最後にその他、何かありますか。

(山田教育長)

それでは、これで令和7年度第16回教育委員会会議を閉会します。  
ありがとうございました。